

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

1 スポーツ少年団本部活動

- ・子ども達の大会参加の機会を確保するため、感染症対策を徹底の上、各専門部会が主体となって「酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会」を開催した（※野球、サッカー、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道の6競技の大会）。
- ・新たな指導者資格制度「スタートコーチ（スポーツ少年団）」の養成講習会が開催され、本市から8名が参加した。また、指導者および単位団の負担を軽減し、新たな指導者資格制度への円滑な移行を図るため、資格取得にかかる費用に対して補助を行っている（R3年度補助実績：5団）。
- ・子ども達一人ひとりの体力や運動能力の特性を知るために実施する「運動適性テスト」について、令和2年度より「運動適性テストⅡ」として測定項目が改定されたことを踏まえ、内容について理解を深め、より多くの団体のテスト実施に繋げるため、指導者向けの研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。

2 スポーツ推進委員会

- ・「第4回ニュースポーツ大会（カローリング、フロアカーリング）」を開催し、地域住民の「する」「ささえる」スポーツ機会の創出に取り組んだ。
- ・会員研修会（第15回ミニ体育祭）を開催し、ニュースポーツ（フロアカーリング、モルック）のルール確認と実技研修を行った。昨年度、民間企業から寄贈いただいたモルックは、ウィズコロナの時代に市民が安心して楽しめるニュースポーツだと考える。今後も体育振興会とスポーツ推進委員会で連携をしながら、地域においてモルックの普及に取り組んでいく。
- ・体育振興会と合同で、飛鳥地区のスポーツ振興事業を実施した（隔年実施）。今年度はニュースポーツ（フロアカーリング、モルック）のルール説明と体験会を行うとともに、自治会長等と飛鳥地区のスポーツ振興について意見交換を行った。今後も島民の健康増進のため、事業を継続していきたいと考えている。
- ・「令和3年度庄内地区スポーツ推進委員協議会初任者研修会」にスポーツ推進員23名が参加し、初任者研修の内容に加え、地域のスポーツ振興を図っていくうえでスポーツ推進委員に求められる資質や在り方について学んだ。

3 スポーツ能力測定会

- ・最新の測定機器（モーションキャプチャ）を用いて子ども達一人ひとりの運動能力を測定する「スポーツ能力測定会」を民間主催で開催した（県内では初開催）。
- ・内容としては、全国4万人を超える子ども達のデータを基に、測定結果から長所と短所を明確化し、子ども自身がパフォーマンスを最大限に発揮できるスポーツを紹介するもの。

- 対 象 小学1年生～中学3年生
- 参加者 最終参加申込者数 215名（うち本市の児童・生徒は 191名）
- 測定内容



4 オクトーバー・ラン&ウォーク 2021

- ・コロナ禍における市民の運動不足や免疫力の低下に伴う健康二次被害を解消し、スポーツ実施率を向上させることをねらいとして、民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに酒田市として自治体参加を行った。
- ・内容としては、スマートフォンのアプリを利用した参加無料のオンラインイベントで、10月の1か月間の歩数や走行距離を全国の参加者と競い合うもの。

- 参加自治体 全国 345 自治体（総勢 84,117 人）
県内は山形県と 20 市町村（総勢 3,085 人）

○結 果

| | 部 門 | 参加者1人あたりの 平均歩数・距離 | 参加住民全員の 累計歩数・距離 | 住民人口あたり の参加率 |
|--------|-----|----------------------|--------------------|-----------------|
| ウォーキング | 実 績 | 168,602 歩 | 12,982,354 歩 | 0.08% |
| | 順 位 | 243 位 | 131 位 | 189 位 |
| ランニング | 実 績 | 113.9km | 6,492km | 0.07% |
| | 順 位 | 224 位 | 107 位 | 126 位 |

5 運動部活動改革

- ・運動部活動改革については学校教育課が主管課として動いており、昨年8月に市内にある総合型地域スポーツクラブの代表者と、9月には市体育協会の代表者との意見交換をそれぞれ行っており、各団体で部活動の地域移行について、どのようなことができるか情報を集めている状況である。